

令和6年度入学試験問題（後期日程）  
小論文  
初等教育教員養成課程 小学校専攻プログラム  
解答例（あるいは出題の意図）

〔問〕

（問1） （解答例）

感じたことをありのままに書いた文章は、個人の感想に過ぎない。感想を述べるだけでは、考えたことを、データをもとに、論拠を示し、他人に伝わるように書くという、論理的な文章を書くための訓練ができないから。（99字）

（問2） （出題の意図）

本問では、まず、論理的な議論の成立要件について問うている。この問いから、解答者の判断力を評価する。

次いで、小学校教員として、論理的に議論する方法を子どもたちに教える際の注意点について問うている。この問いから、解答者の思考力を評価する。

最後に、今後教師となるために必要な学習に対する解答者の展望を問うている。この問いから、解答者の教職への意欲と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する。

なお、解答者の表現力については、文章全体から総合的に評価する。

高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、教職への意欲等を評価

議論がかみあうためには、論拠のともなった意見を相手に伝わるように述べ合う必要がある。そのために、意見を述べる際には、必ず「なぜなら」という言葉を含めること、他者の意見を受けて発言するときは、最初に相手の意見を復唱することといったルールを設定する。このようなルールを設定することにより、論拠を述べることの習慣化とミスコミュニケーションの防止が期待できる。また、実際の議論において、論拠が論拠となっていない発言が見られた場合には、

令和6年度入学試験問題（後期日程）

小論文

〇〇教育教員養成課程 〇〇プログラム 〇〇専攻  
解答例（あるいは出題の意図）

[1]

（問1）〇〇〇（解答例）〇〇〇・・・

[2]

（問1）

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜）

小論文

〇〇教育教員養成課程 〇〇プログラム 〇〇専攻  
解答例（あるいは出題の意図）

〔1〕

（問1）〇〇〇（解答例）〇〇〇・・・

〔2〕

（問1）